2010年度

科目名	日本語の文法				
担当教員	大槻　美智子				
配当	教福2			コード	25270
開期	通年	講時	火曜日5限	単位数	4
授業テーマ	「国文法」の考え方とその問題点を知る。				
目的と概要	従来の国文法の大きな枠組みは活かしつつ、大きな問題となるところはその考え方を修正し、 日本語の文法の姿を、なるべくシンプルに取り出し提示することを目的とする。また、受講者にも文法を 考える力をつけたい。				
成績評価法	講義時に行う課題へのとりくみ（20%）および定期試験の成績（80%）で評価する。				
テキスト	特になし				
参考書	山田敏弘『国語教師が知っておきたい日本語文法』くろしお出版 岩田道雄『考える力を育てる日本語文法』新日本出版社 大久保忠利『大久保・日本文法』著作選集6　三省堂 その他、適宜紹介する。				
履修に当たっての注意・助言	中学校で使用した「国文法」のテキストまたは問題集を用意すること。				

講義計画

1　ガイダンス
2　文の成分　主部　は・が、副助詞
3　　〃
4　　〃　　述部　　動詞文・形容詞文・名詞文
5　　〃
6　　〃　　補部　格助詞
7　　〃　　格助詞の問題点
8　　〃　　修飾部（連用）
9　　〃　　修飾部（連体）
10　文の成分と相互関係／文の成分と文構造
11　文の成分から単語へ
12　単語の性質と品詞
13　名詞の分類
14　数詞・代名詞
15　まとめ

16　ガイダンス
17　助動詞（１）使役・受身・可能
18　ラ抜き言葉と可能動詞
19　自動詞と他動詞の表現性
20　無生主語と有生主語
21　助動詞（２）「た」「ている」アスペクト
22　　〃
23　助動詞（３）「そうだ」（伝聞と様態）「ようだ」「らしい」（推定）
24　　〃　　「だろう」「う」（推量）
25　　〃　　「だ」「です」（指定）
26　文の種類　重文・合文と接続助詞１
27　　〃　　２
28　　〃　　有属文と連体修飾１
29　　〃　　〃　　２
30　まとめ